

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成17年度～		根拠法令・例規等		医療法 備前市国民健康保険病院条例	
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」		問合先	担当課(室)	市立日生病院	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつでも安心して暮らせるまち			職・氏名	医事係長・尾崎嘉代	
	小項目	施策	24	地域に密着した医療サービスの提供			電話	0869-72-1111	
事務事業名		09		日生病院診療事業		このシート作成に要した時間		3.0 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	病気の予防及び治療を必要とする人		
目的(何のために)	安心・安全で良質な医療の提供		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	安心して安全な医療が受けられる環境整備と良質で適正な医療を提供し患者数の増加を図る。		

事業の実績		Do	
細事業名	事業の説明		優先度
収納事業/未収金	未収金の回収業務		◎
診療事業/入院	入院による診療サービスの提供		◎
診療事業/外来	外来による診療サービスの提供		◎
検診事業/検診	住民検診・企業検診・人間ドックによる市民の健康管理の提供		◎
地域連携事業	病診連携・病病連携や、介護福祉施設等との連携をはかり患者さまにより良い医療サービスを提供		○
相談事業	入院生活等、医療についての不安や治療費についての相談業務		○
その他医事	各種法令に沿った申請・届出等医療事務サービスの提供		○
右欄の評価の説明			
<妥当性評価> ○医師、看護師不足については、就学資金貸付制度を導入し確保に努めている。又、大学病院等への医師派遣の依頼も継続している。 ○病診連携・病病連携・介護福祉施設等との連携、さらに、県が実施する、医療情報ネットワークへの参画の果たし、さらなる連携強化を進めることが出来ている。			
<効率性評価> ○入院患者延べ数については、減少となったが、外来患者延べ数については、新たな専門外来、訪問診療の実施もあり、昨年度より増加となった。 ○コスト削減については、現状分析を行いながらより一層の努力を行ってきたい。			
<有効性評価> ○専門外来の新設、訪問診療の実施、また医療情報ネットワークへの参加により、更なる連携強化を行い、収益増に繋げていきたい。 ○今後も現状分析を行いながら、収益増に繋がる事業等の検討を行っていくと共に、安心、安全で良質な医療の提供が行えるよう努める必要がある。			

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	592,483	570,799	750,697
	必要人員件数		94.67人	90.11人	95.74人
	事業費		1,112,986	1,090,553	1,290,537
財源	国	千円			
	県				
	受				
	益				
	者				
負担	95,517	103,155	104,683		
率					
市					
債					
借					
入					
金					
源					
一	1,017,469	987,398	1,185,854		
般					
財					
源					
受					
益					
者					
負					
担					
比					
率					

結果指標名		単位	平成23年度実績		平成24年度実績		平成25年度実績	
結果指標	結果指標量	説明	入院	外来	入院	外来	入院	外来
	対前年比	%	26,522	49,482	25,427	53,204	24,110	55,119
	対前年比	%	97.6	96.2	95.9	107.5	94.8	103.6
	活動コスト	円	685,718,000	392,049,000	663,986,000	389,569,000	782,985,000	463,469,000
	単当たりコスト	円	25,855	7,923	26,113	7,322	32,476	8,409

事業の成果		成果指標名				
病床利用率(%)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
	目標値(A)	90.0	90.0	90.0	90.0	
	実績値(B)	78.8	75.7	71.8	到達目標値	
		達成率(B/A)	84.11%	79.78%	毎年度	
成果指標設定の考え方・式や説明						
安定した病院経営をするためには、収益の確保と維持が重要である。このため、経営の効率化に経営指標(収支改善、経費削減、収入確保、経営の安定性等)の中から、収入確保に係るものとして病床利用率を成果指標として選択し、目標値を設定。 * 病床利用率(%) = 入院延患者数 ÷ 診療日数 (365日又は366日) ÷ ベッド数						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要性	市民ニーズ	A	妥当性評価 ABCDE 高や普や低い や通やいい 高 低い
効率性の評価	コスト	手段	B	効率性評価 ABCDE 高や普や低い や通やいい 高 低い	B
有効性の評価	目的達成度	市民参画度	C	有効性評価 ABCDE 高や普や低い や通やいい 高 低い	C

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○					
説明		地域住民のニーズに応じた適切なサービスを効率的に行えるよう、入院、外来部門の運営強化を推進する。また、特定検診・各種人間ドックなどの検診事業と予防接種・健康教室などの地域保健活動の拡充を図ることにより、地域住民の健康増進に貢献できるよう努める。						

総合評価		総合評価	
成果指標は目標を下回ったが、経常収支比率105.3%、経常利益63,783千円を確保することができた。しかしながら、経営の安定化を推進するためには引続き事業運営の見直しと検討及び地域住民の医療ニーズへの対応を考慮しながら経営健全化に努めていく必要がある。		B	

平成27年度の方向性・取組目標		Action						
方向性	取組目標	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○					
取組目標		公立病院改革プランの経営の効率化に係る計画の趣旨に基づき、経費削減・抑制対策や収入増加・確保対策等取り組み、経営の安定化を推進する。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら